

2027年3月期 第2四半期（中間期） 決算補足資料

2026年10月30日

都築電気株式会社

証券コード：8157（東証プライム市場 情報・通信業）

連結業績サマリー

新中計初年度、上期は旺盛な需要を取り込み大幅増収、
通期で2期連続の増収、5期連続の営業利益・経常利益最高益更新を目指す

決算概要

■ 通期目標達成は想定線

✓ 中間期は先行投資により増収減益、2Q（7-9月）は費用増を補い**収益性が大きく改善**

■ エンジニアリングサービスを軸としたサービス中心の収益モデルへの進化に手応え

✓ 2Q（7-9月）のエンジニアリングサービスの受注は**二桁伸長**

■ 受注残高は過去最高水準を継続更新

✓ 9月末時点の受注残高は**412**億円（前年同期比125.9%）

■ 採用計画は順調に進捗

✓ キャリア採用の進捗率**82.5%**

連結業績ハイライト 中間期（4-9月）

中間期の業績は先行投資の影響もあり減益も、売上高は大幅に伸長
営業外費用として、M&A検討に伴う支払手数料が一時的に発生

	2026年3月期 中間期		2027年3月期 中間期		(単位：百万円)	
	金額	構成比	金額	構成比	前年同期差	前年同期比
売上高	43,437		47,181		+3,743	108.6%
売上総利益	10,665	24.6%	10,571	22.4%	△94	99.1%
販売費及び一般管理費	8,175	18.8%	8,531	18.1%	+355	104.4%
営業利益	2,489	5.7%	2,039	4.3%	△450	81.9%
経常利益	2,593	6.0%	2,019	4.3%	△573	77.9%
親会社株主に帰属する 中間純利益	1,817	4.2%	1,333	2.8%	△483	73.4%

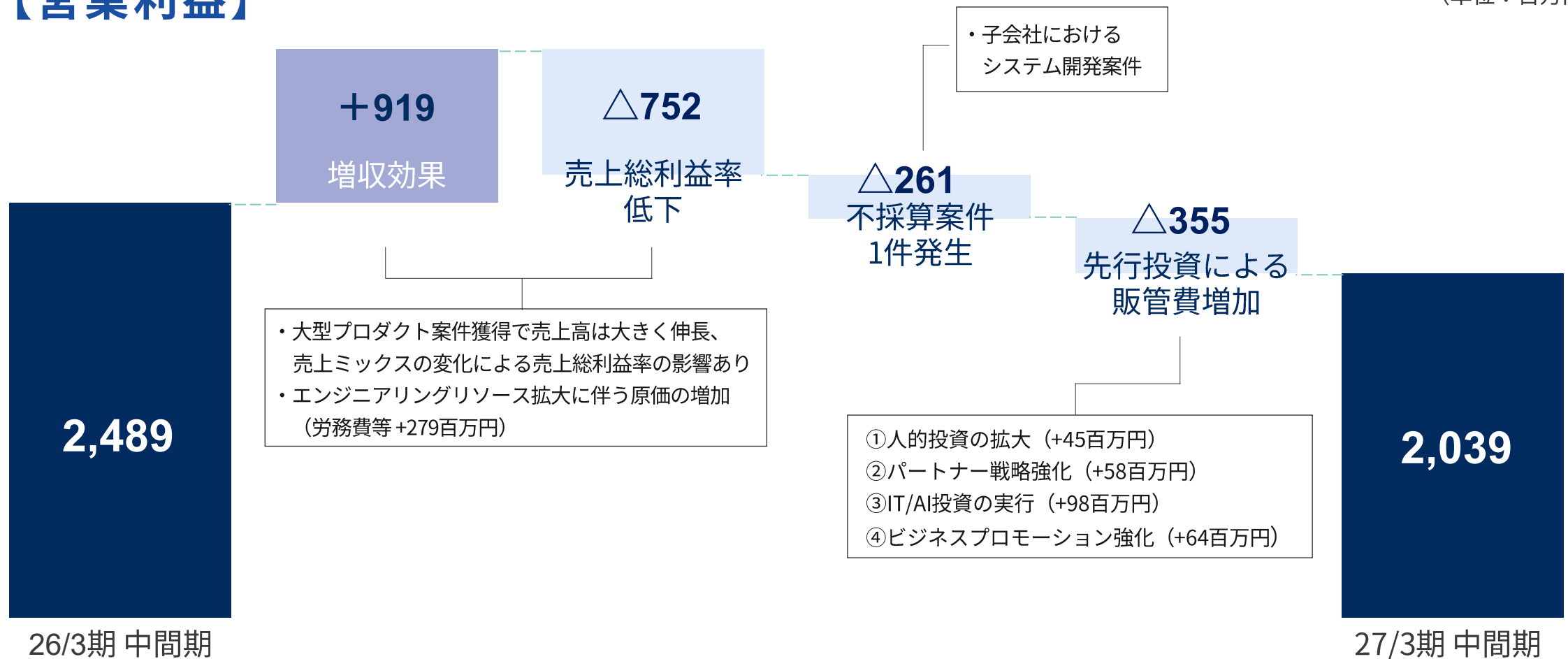
【営業外費用】
M&A検討に伴う
支払手数料（67百万円）

営業利益の変動要因 中間期（4-9月）

積極的な成長投資を実行、労務費含む人的資本投資は324百万円
子会社における案件審査・プロジェクト進捗監視を本社同等の水準へ強化

【営業利益】

（単位：百万円）



属性別 売上高 中間期（4-9月）

エンジニアリングサービス

ITを設計・実装・運用し顧客成果を生むサービス

インフラ構築／ネットワーク設計・構築／
システム・アプリケーション開発／音声基盤システム(PBX)構築
自社の保守・運用サービス等

プロダクト

付随する製品・サービスの販売

PC／サーバ／ストレージ／ミドルウェア／ネットワーク機器／PBX
クラウド基盤／メーカー保守／回線月額費用/自社クラウドサービス等

エンジニアリングサービス

【2027年3月期 中間期の概況】

前年同期の大型案件の反動があるも製造業・物流・官公庁など
広く案件を積上げ前年同期並みに推移

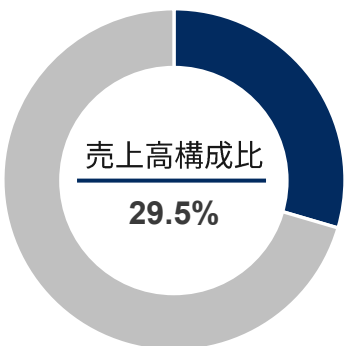
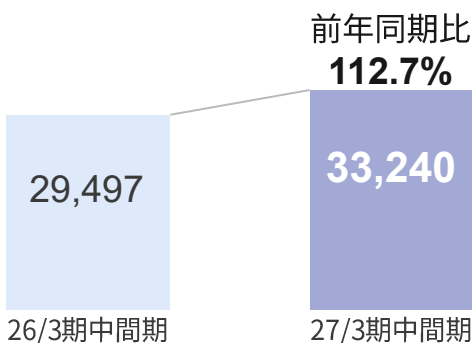
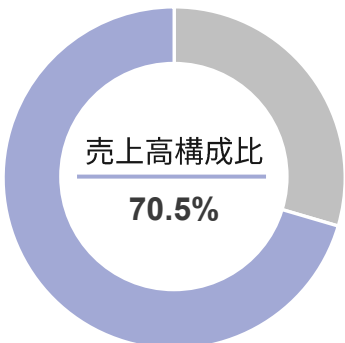
プロダクト

【2027年3月期 中間期の概況】

官公庁・金融業向け大型プロダクト案件を獲得したことにより
前年同期を大幅に上回り推移

（単位：百万円）

【売上高】



受注状況 中間期（4-9月）

エンジニアリングサービス、プロダクトともに受注高・受注残高は前年同期を上回る
旺盛な設備投資意欲を取り込み受注拡大継続

（単位：百万円）

	2026年3月期 中間期	2027年3月期 中間期	前年同期差	前年同期比
受注高	55,973	61,546	+5,572	110.0%
受注残高	32,782	41,267	+8,484	125.9%

【属性別】

エンジニアリングサービス

製造業、医療機関、通信業界など幅広い業界にて大型基盤更改・ネットワーク構築案件を複数獲得

受注高	16,147	17,509	+1,361	108.4%
受注残高	8,366	9,970	+1,604	119.2%

プロダクト

官公庁、医療機関、小売業などリプレースの大型案件を複数獲得

受注高	39,825	44,036	+4,210	110.6%
受注残高	24,416	31,296	+6,880	128.2%

エンジニアリング・コア4領域 中間期（4-9月）売上高進捗

ネットワーク&セキュリティ・ITプラットフォーム・ビジネスアプリケーションが好調に推移
CXコミュニケーションも下期に向けた受注の獲得進む

	2026年3月期 中間期	2027年3月期 中間期	前年同期差	前年同期比
①ネットワーク&セキュリティ	3,018	3,255	+236	107.8%
②ITプラットフォーム	1,391	1,552	+161	111.6%
③ビジネスアプリケーション	4,217	4,431	+213	105.1%
③-1（うち標準適用型アプリ）	1,750	1,799	+49	102.8%
③-2（うち顧客特化型アプリ）	2,467	2,631	+164	106.7%
④CXコミュニケーションプラットフォーム	1,922	1,607	△ 315	83.6%
④-1（うちユニファイドコミュニケーション）	1,453	1,203	△ 250	82.8%
④-2（うちコンタクトセンター）	468	404	△ 64	86.2%

2027年3月期中間期（4-9月） 売上高実績 内訳

（単位：億円）

		2026年3月期中間期	2027年3月期中間期	前年同期差	前年同期比
エンジニアリングサービス	SI	90	91	+1	101.4%
	NI	49	47	△1	97.5%
	エンジニアリングサービス 計	139	139	+0	100.0%
プロダクト	SI	205	215	+10	105.1%
	NI	89	116	+26	130.0%
	プロダクト 計	294	332	+37	112.7%
連結合計		434	471	+37	108.6%

エンジニアリングサービス 内訳		2026年3月期中間期	2027年3月期中間期	前年同期差	前年同期比
ネットワーク&セキュリティ		30	32	+2	107.8%
ITプラットフォーム		13	15	+1	111.6%
ビジネスアプリケーション		42	44	+2	105.1%
うち、標準適用型アプリ		17	17	+0	102.8%
うち、顧客特化型アプリ		24	26	+1	106.7%
CXコミュニケーションプラットフォーム		19	16	△3	83.6%
うち、ユニファイドコミュニケーション		14	12	△2	82.8%
うち、コンタクトセンター		4	4	△0	86.2%
エンジニアリング・コア4領域 計		105	108	+2	102.8%
その他		33	30	△2	91.3%
エンジニアリングサービス計		139	139	+0	100.0%

第2四半期会計期間（7-9月）連結業績概要

1Qは投資が先行し減益も、2Qは収益性が改善し営業利益ほぼ横ばい
戦略の実行による収益拡大の流れは着実に進展

（単位：百万円）

	2026年3月期				2027年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
受注高	27,806	28,167	26,192	28,217	31,065	30,480
（前年同四半期比）	117.6%	109.9%	116.0%	98.2%	111.7%	108.2%
売上高	18,833	24,603	23,889	36,401	22,014	25,166
（前年同四半期比）	100.3%	106.6%	101.8%	110.4%	116.9%	102.3%
売上総利益	4,354	6,311	5,480	8,819	4,175	6,395
売上総利益率	23.1%	25.7%	22.9%	24.2%	19.0%	25.4%
販売費及び一般管理費	4,053	4,122	3,965	4,646	4,299	4,232
営業利益	301	2,188	1,515	4,173	△123	2,163
（前年同四半期比）	—	157.1%	150.7%	102.2%	—	98.9%
営業利益率	1.6%	8.9%	6.3%	11.5%	—	8.6%

第2四半期会計期間（7-9月）属性別実績

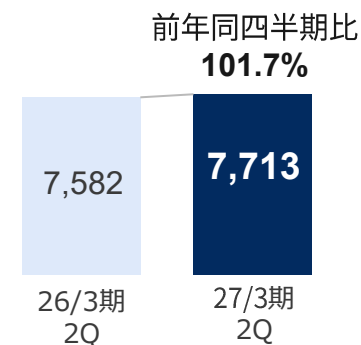
エンジニアリングサービスの受注は前年同四半期比で二桁伸長、
新中計の軸となるエンジニアリングサービス拡大に良好な兆し

エンジニアリングサービス

（単位：百万円）

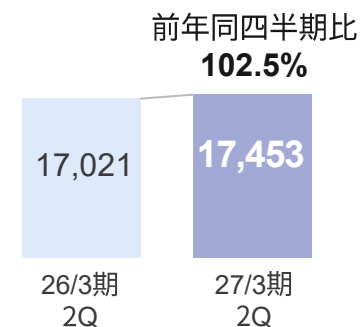
【売上高】

	2026年3月期 2Q	2027年3月期 2Q	前年 同四半期差	前年 同四半期比
【売上高】	7,582	7,713	+131	101.7%
・ 製造業における物流インフラ基盤構築・運用支援やアミューズメント施設の案件獲得により前年同四半期を上回る				
【受注高】	7,587	9,230	+1,643	121.7%
・ 音声基盤の更改・クラウド移行や病院システムの大型案件の受注を獲得				



プロダクト

	2026年3月期 2Q	2027年3月期 2Q	前年 同四半期差	前年 同四半期比
【売上高】	17,021	17,453	+431	102.5%
・ 官公庁向け大型プロダクト案件を獲得したことにより前年同四半期を大幅に上回り推移				
【受注高】	20,580	21,250	+669	103.3%
・ 前年同四半期の大型案件一括受注の反動減あるも、官公庁、交通インフラ、医療機関の案件獲得によりカバー				



会計期間 業績推移

【当社グループの四半期業績の特性】

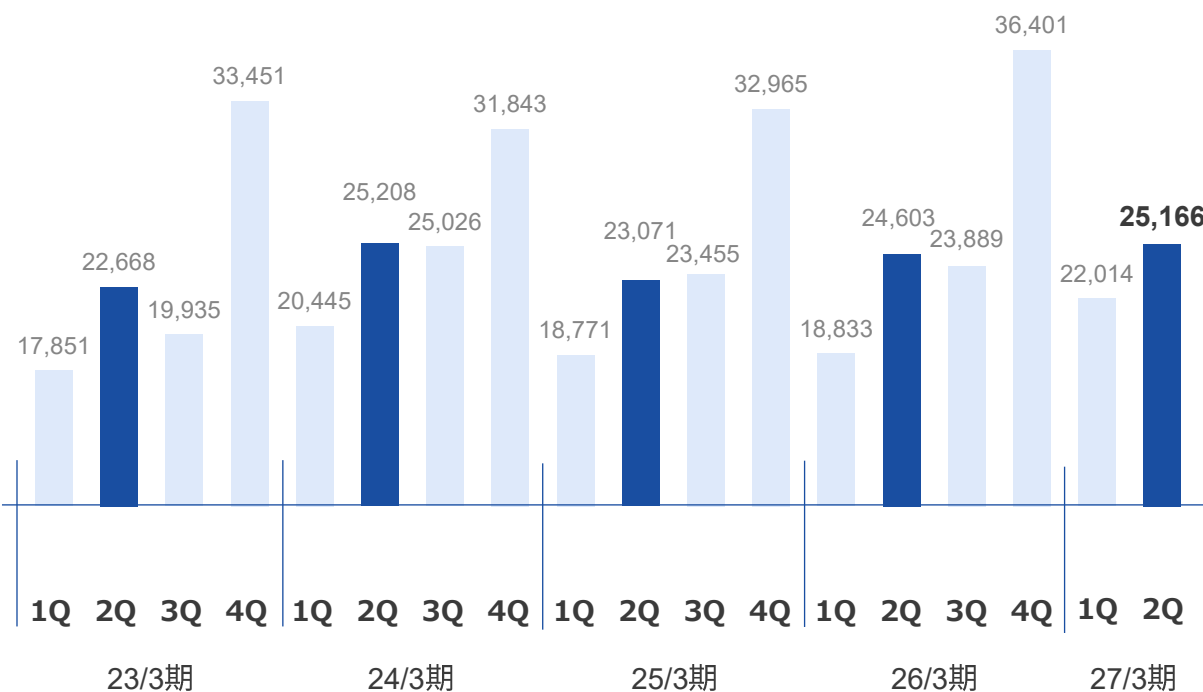
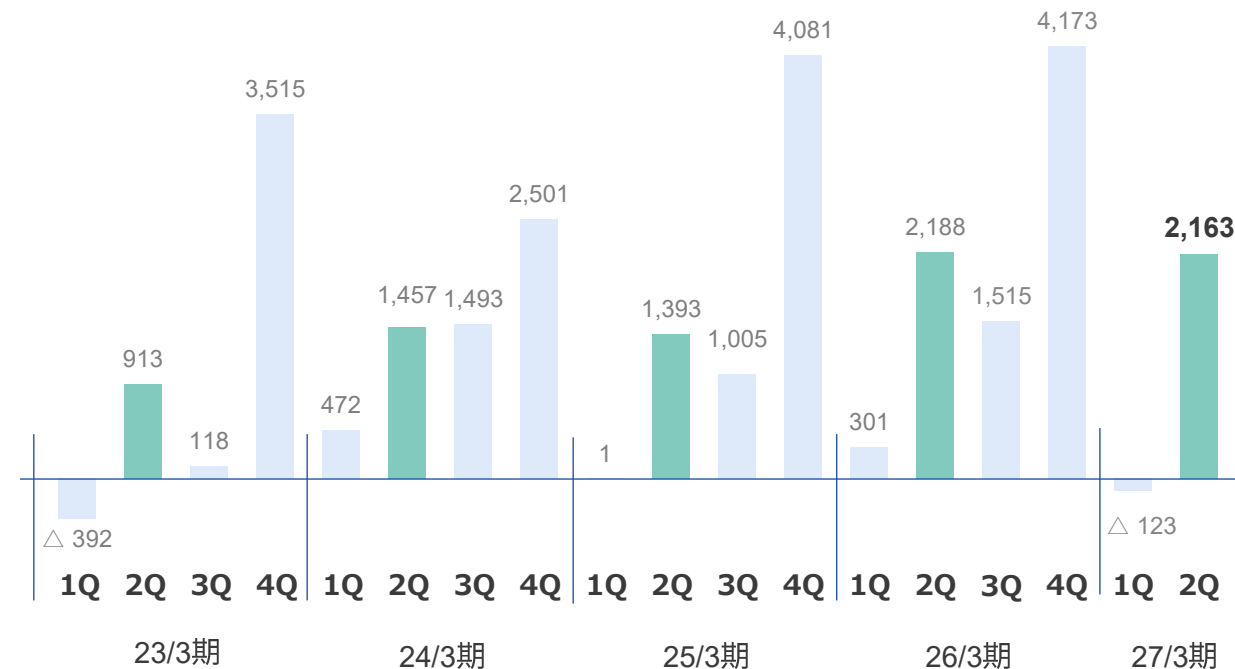
4月から3月までを事業年度とするお客さまが多く、売上高、営業利益ともに年度の節目である9月及び3月に集中する傾向

売上高

(単位：百万円)

営業利益

(単位：百万円)

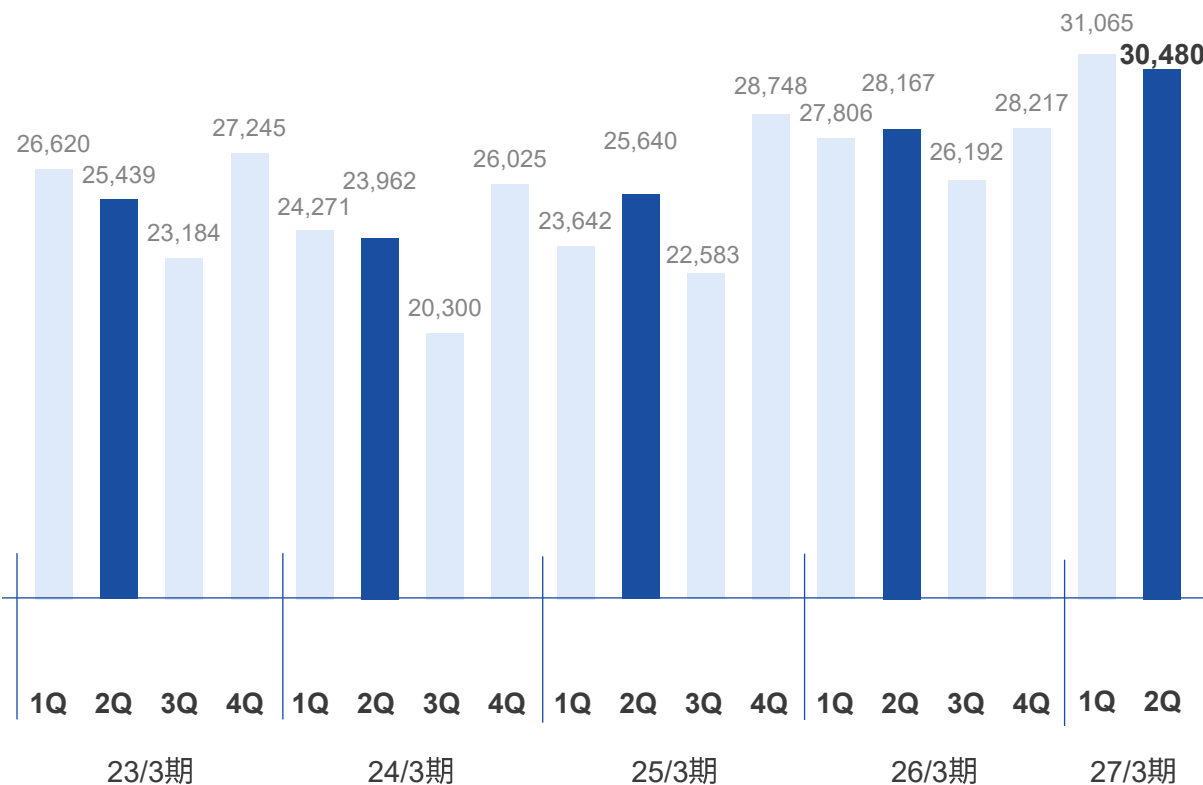


※24年1月9日子会社売却により単一セグメントへ移行、24/3期3Q以前は情報ネットワークソリューションサービスの実績

会計期間 受注推移

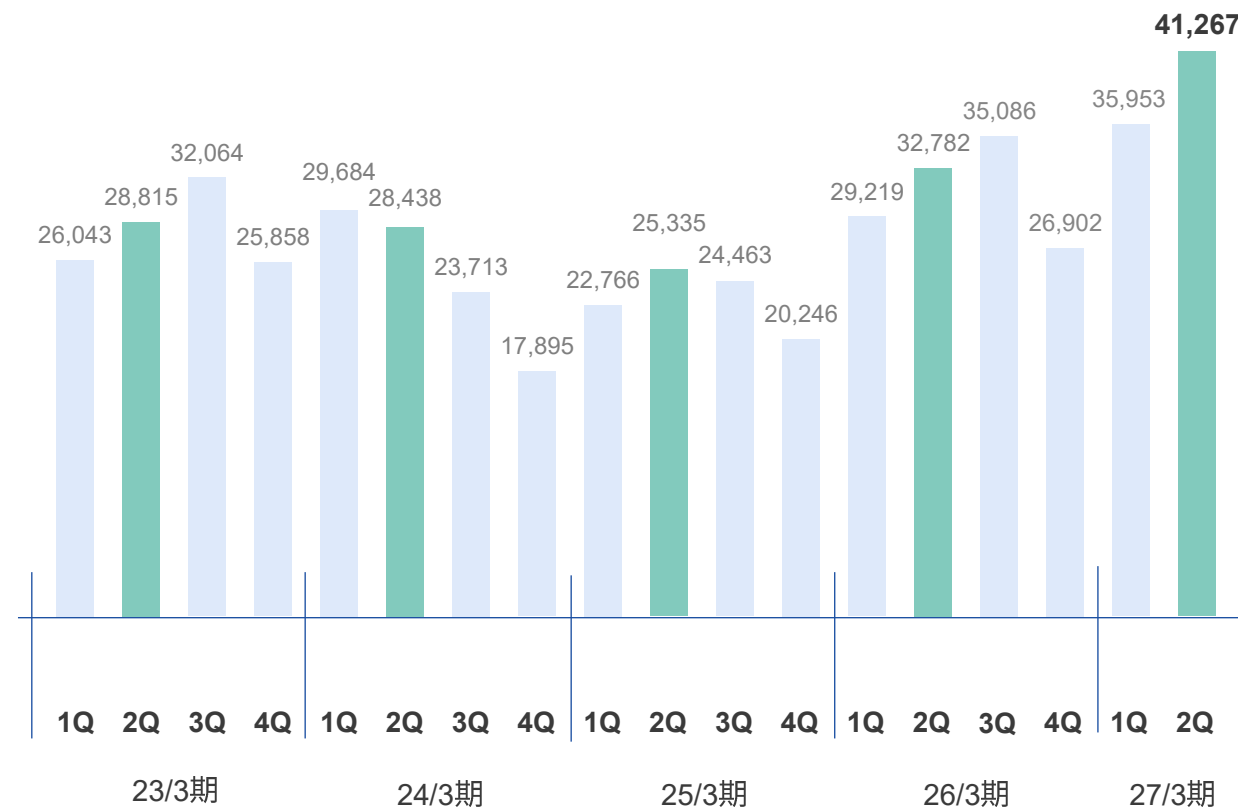
受注高

(単位：百万円)



受注残高

(単位：百万円)



※24年1月9日子会社売却により単一セグメントへ移行、24/3期3Q以前は情報ネットワークソリューションサービスの実績

2027年3月期 連結業績予想

戦略の着実な実行により売上高の拡大に伴う利益成長へ手応え、旺盛な需要を捉え受注も大幅拡大
2期連続の増収、5期連続の営業利益・経常利益最高益更新に向け順調に進捗

(単位：百万円)

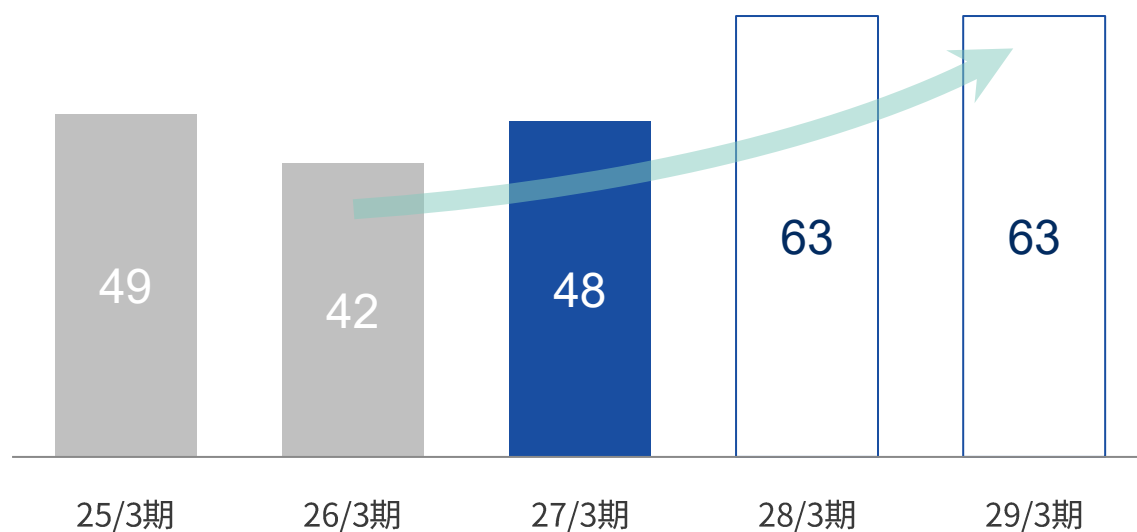
	2026年3月期		2027年3月期		前期差	前期比
	金額	利益率	金額	利益率		
売上高	103,728		107,000		+3,271	103.2%
営業利益	8,178	7.9%	8,700	8.1%	+521	106.4%
経常利益	8,320	8.0%	8,700	8.1%	+379	104.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	6,472	6.2%	5,750	5.4%	△722	88.8%

採用状況

新卒・キャリア採用ともに計画に対し順調に進捗
今後もキャリア人材を軸に採用を強化しエンジニアリングリソースの拡大を目指す方針

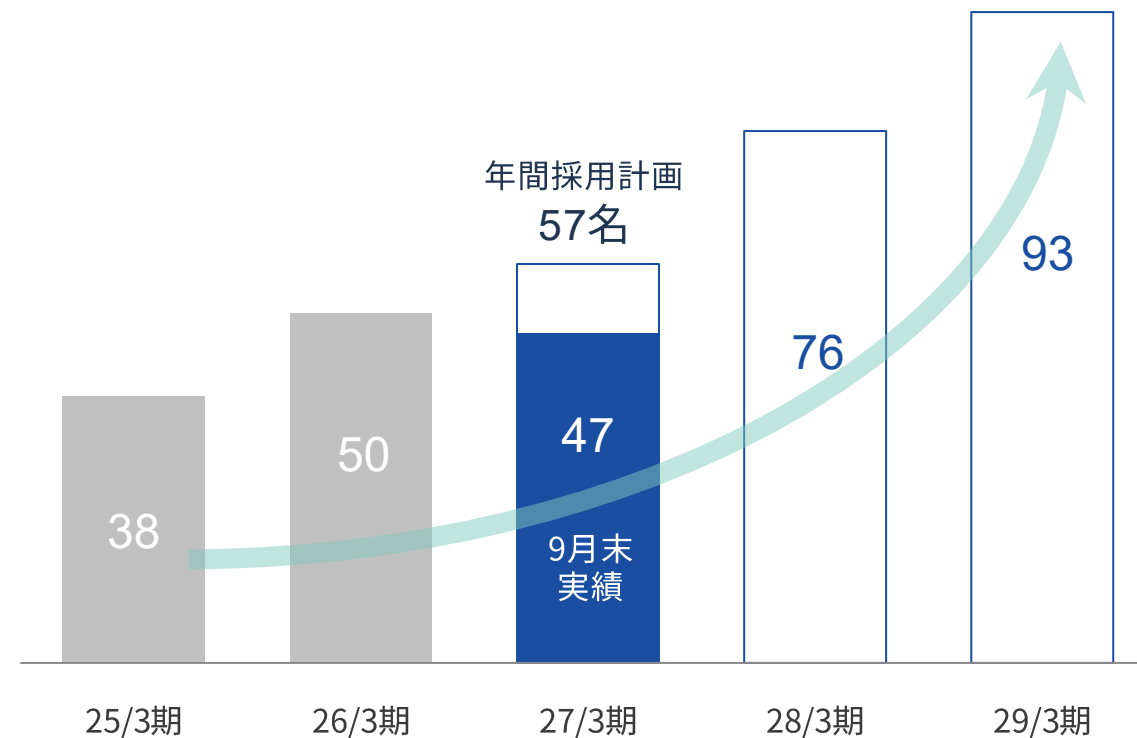
新卒採用

(単位：名)



キャリア採用

(単位：名)



株主還元【再掲】

今期より配当性向を引上げ、株主還元をさらに強化

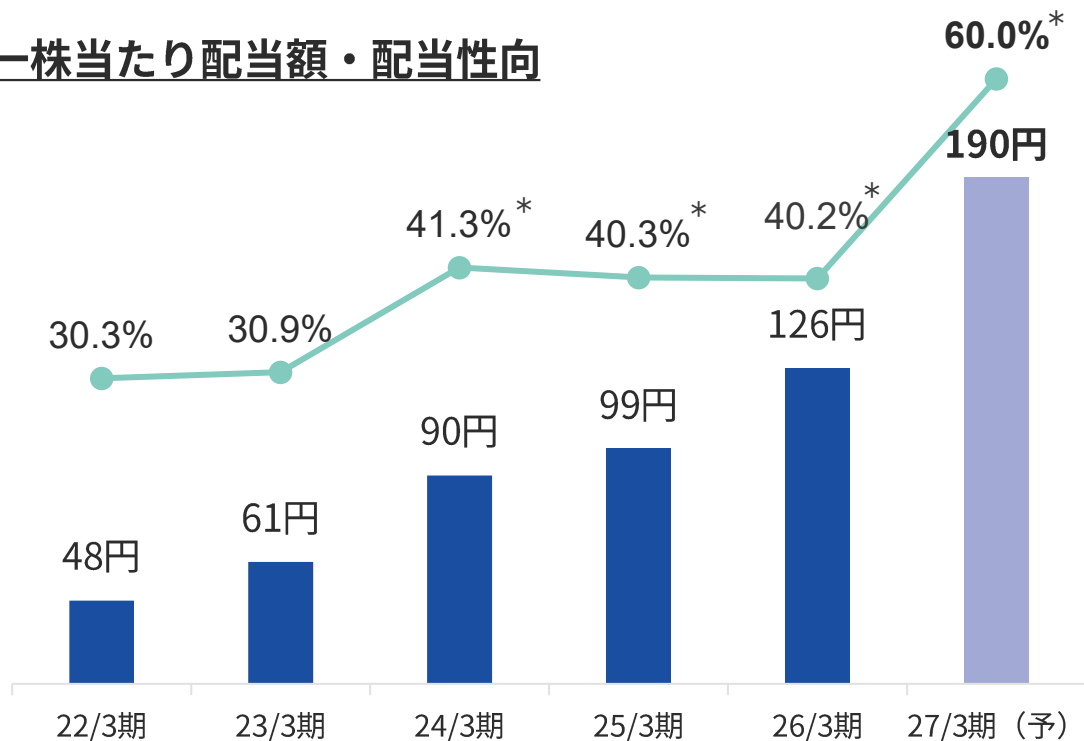
配当性向*の目安を40% → 60%へ

(配当の下限：株主資本配当率 (DOE) 3.5% → 6.0%)

27/3期予定 年間配当 190円 (中間：95円 期末：95円)

*… 特別損益等を除く1株あたり当期純利益 (事業活動利益ベース) を対象とする

一株当たり配当額・配当性向



*事業活動利益ベース。

会計上の当期純利益ベースでは24/3期29.5%、25/3期37.6%、26/3期35.4%

株主優待

保有株式数	商品 (クオカードを含み、各価格帯13種類)	
	3年未満	3年以上
100株以上300株未満	1,000円相当	2,000円相当
300株以上1,000株未満	2,000円相当	4,000円相当
1,000株以上	3,000円相当	6,000円相当

1,000株以上3年未満 (3,000円相当) と 300株以上1,000株未満3年以上 (4,000円相当) の両方に該当する場合は、300株以上1,000株未満3年以上 (4,000円相当) とみなす



※優待品例 (写真はイメージです)

企業概要

商 号	都築電気株式会社 TSUZUKI DENKI CO.,LTD.
本 社	〒105-8665 東京都港区新橋6丁目19番15号 （東京美術倶楽部ビル）
創 業	1932年5月1日 都築商店として創業
設 立	1941年3月26日 都築電話工業株式会社として設立
業 種	情報・通信業
証券コード	8157（東京証券取引所プライム市場）
資本金	98億1,293万円
売上高	連結 1,037億28百万円 （2026年3月期）
従業員数	連結 2,040名 （2026年3月末時点）

お問合せ

担当	都築電気株式会社 経営企画室
所在地	〒105-8665 東京都港区新橋六丁目19番15号 (東京美術倶楽部ビル)
	TEL 050-3684-7780
	ir-tantou@tsuzuki.co.jp
	https://www.tsuzuki.co.jp/

■免責事項■

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報や判断に基づくものであり、不確実な要素を含んでおります。実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性がありますことをご了承ください。本資料の掲載内容については細心の注意を払っておりますが、その内容の正確性及び確実性を保証するものではないことをあらかじめご了承ください。

本書面に記載されている会社名、製品及びサービス名は、各社の登録商標または商標です。

人と知と技術で、
可能性に満ちた“余白”を、ともに。